

日 程 表

日	時 間	プ ロ グ ラ ム
18 日 (土)	9:00~	受付開始
	10:00~10:10	あいさつ・事務連絡
	10:10~12:00	「基調講演」
	昼 食 休 憩	
	13:00~17:00	「シンポジウム」 「特別講座」 「基礎講座」第1 第2 「実践講座」第1 第2
	17:15~17:50	会員総会
	夕 食 休 憩	
19 日 (日)	18:00~20:30	「基礎講座」第3 第4 「実践講座」第3 「分科会」第1 「自由交流会」第1 第2
	9:15~12:00	「トーク」第1 第2 「基礎講座」第1 「分科会」第2 第3 「実践講座」第1
	昼 食 休 憩	
	13:00~15:00	「記念講演」
	15:10~16:00	「全体集会」

\*当日の受付は、「テルサホール」前で行います

<レポート募集>

分科会等で日頃の実践をレポートください。A4で1~4枚程度でメールアドレス [phntudoi@yahoo.co.jp](mailto:phntudoi@yahoo.co.jp) まで  
<宿泊先案内> 宿泊は各自お申し込みください。(会場最寄りのホテルの一部)

京都プラザホテル	京都市南区西九条蔵王町 28	☎ 075 - 691 - 0100	料金 8,445 円~
京都第一ホテル	京都市南区東九条下殿田町 45	075 - 661 - 8800	6,637 円~
ホテル京阪グランド	京都市南区東九条西山王町 31	075 - 661 - 0321	6,737 円~

\*会場周辺のホテルの空き情報は毎日変わります。直接ホテルにお尋ねください。

参加申し込み先 (問合せや職場宛の文書などが必要な方も下記まで)

全国保健師活動研究会事務局 TEL/FAX 03-3386-8837 〒165-0027 東京都中野区野方 1-45-2 菊地方  
・1月10日までに郵送またはFAXで申込みください。(メールアドレス [phntudoi@yahoo.co.jp](mailto:phntudoi@yahoo.co.jp) から申し込み可)  
・当日の申し込みでも参加できますが、準備の都合上必ず参加申込みください。・参加費は当日いただきます。

全国保健師活動研究会入会のご案内

年会費：7,000 円 (振込先：00120-9-557308 名称：全国保健師活動研究会)  
特典：①機関誌「PHNブックレット」や「研究集会報告集」、通信(年数回)をお送りします。  
②全国研究集会や研究会主催のセミナーの参加費を会員割引します。  
申し込み：研究会事務局 〒165-0027 東京都中野区野方 1-45-2 菊地方まで

参加申込み用紙

申込み用紙は1人1枚使用ください。 <送り先> FAX 03-3386-8837

氏 名	職場名 (学校名)	研究会の (会員・非会員・学生)
連絡先 住 所	(職場・自宅) 〒	連絡先 電 話 (職場・自宅・携帯)
参加を希望 する講座		

\*メールで申し込みの方は、タイトルを「研究集会参加申し込み」とし、上記の内容をお送りください。

# 第52回 全国保健師活動研究集会

日 時 2020年1月18日(土)10時~19日(日)16時

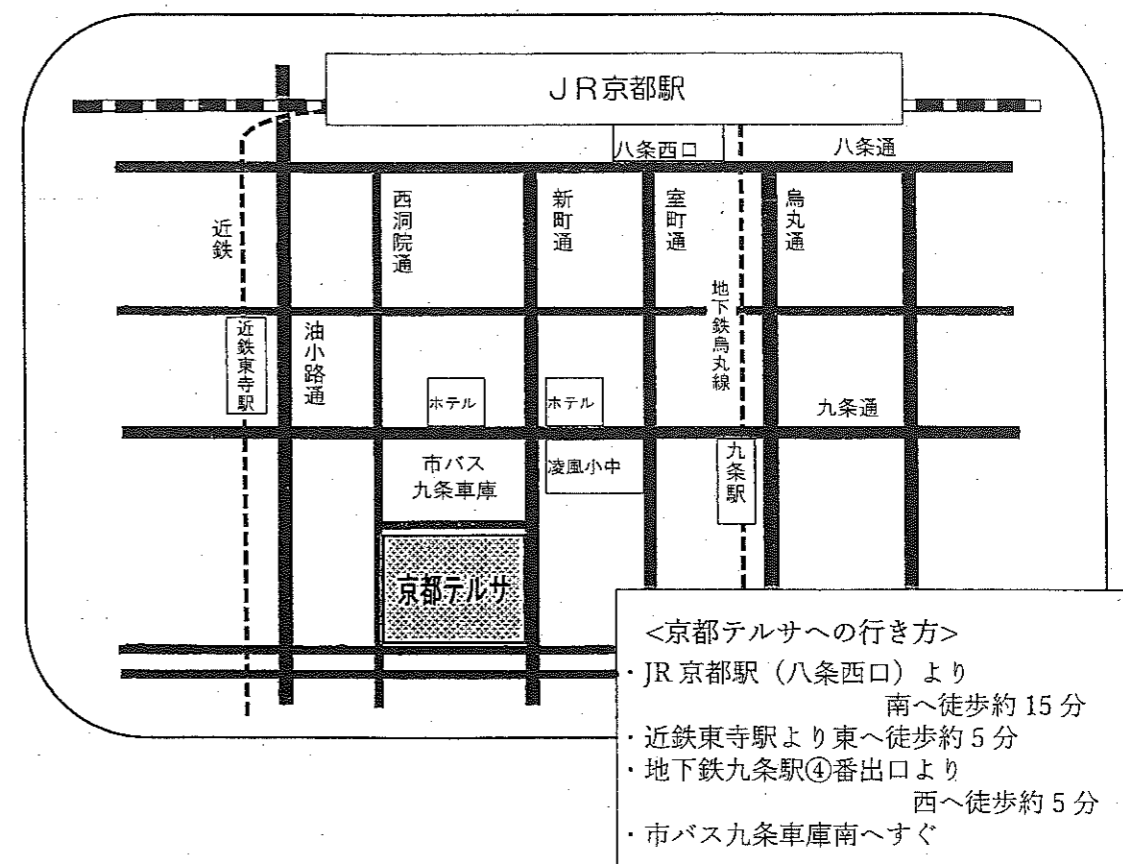
会 場 京都テルサ

京都府京都市南区東九条下殿田町 70 Tel 075-692-3400

参加費 会員 5000円 非会員 6000円 学生 3000円

\*裏面申し込み用紙に記入し早めにお送り下さい

<会場案内図>



主 催 全国保健師活動研究会

(事務局 〒165-0027 東京都中野区野方 1-45-2 菊地方 TEL/FAX 03-3386-8837)

プログラム

【基調講演】— 民営化で公衆衛生はどうか・憲法25条と国の責務—

18日 10:10~12:00	すすむ公的保健事業の民営化の流れ ～「官民連携」のあるべき姿とは～ 森 裕之 (立命館大学)	テルサホール
--------------------	--	--------

【シンポジウム】— 豪雨、地震、台風などによる水害、土砂災害等、災害時の保健師の対応を学ぶ—

18日 13:00~17:00	多発する災害と住民支援の新たな課題 シンポジスト：○被災地の保健師の支援活動の経験…台風19号の被災地から ○被災直後と避難所、仮設住宅入居者への支援 ○中長期的支援の活動と課題 コメンテーター： 高鳥毛敏夫 (関西大学) 篠崎次男 (元立命館大学) 佐藤久美 (新潟・小千谷市)	テルサホール
--------------------	---	--------

【特別講座】— 職場や地域で働く人たちの現状とこれからの成人保健を考える—

18日 13:00~17:00	自治体の成人保健対策を見直す 「働き方改革」がもたらす住民の健康破壊と支援のあり方 服部 真 (金沢・城北病院)	2階 中会議室
--------------------	--	------------

【2日間の連続講座】— 実践に必要な考え方、方法を学ぶ—

18日 13:00~17:00	基礎講座 第1	乳幼児のからだの発達講座 母と子の相互の育ちあいと保健師の役割 (発達障害等も)	家森 百合子 (家森クリニック)	2階 第1・2 セミナー室
↓ 19日 9:15~12:00	実践講座 第1	精神障害者への相談と生活臨床による関わり ○最近の心の問題への対応と「生活臨床」 ○「ユークムズ」 (精神保健サービス提供ネットワーク) から学ぶもの	伊勢田 堯 (元都立多摩総合精神保健福祉センター)	2階 第3 セミナー室

【午後の講座】— 保健師の力量形成のために—

18日 13:00~17:00	基礎講座 第2	保健師活動の基本は地区担当制と家庭訪問 自治体職員としての保健師の責務とは何か	手島 幸子 (新潟・元聖籠町役場) 山崎 洋子 (健康科学大学)	3階 A 会議室
	実践講座 第2	生命(いのち)と生活(暮らし)の統計 住民の声の実態把握と保健活動の事業化を学ぶ	藤岡 光夫 (静岡大学)	2階 研修室

【会員総会】— 会員の方はぜひご参加をください—

18日 17:15~17:50	第13回全国保健師活動研究会 会員総会	2階 研修室
--------------------	---------------------	--------

【夜間自由交流集会】

18日 18:00~20:30	第1	悩みごと・困りごとなんでも相談	2階 研修室
	第2	男性保健師の交流	3階 A 会議室

【夜間の講座】

18日 18:00~20:30	基礎講座 第3	依存症問題を学ぶ アルコール、薬物、スマホ、ギャンブル依存症等のメカニズムと対応の方法を学ぶ	辻本 士郎 (東布施辻本クリニック)	2階 第2 セミナー室
	基礎講座 第4	「働き方改革」の本質と過重労働の実態 変形労働時間の制度化など、職場の合理化と 労働者のからだどころへの影響	佐々木 昭三 (社医研センター)	2階 第3 セミナー室
	実践講座 第3	児童虐待と保健師の役割 対応の即応性と関係者間の連携のあり方、虐待の予防	山本 訓子 (東京・江東区)	3階 中会議室
	分科会 第1	原発事故後の被災地の現状と住民の暮らし 今、被災住民が求めているもの、 長期化する被災者への支援	中澤 正夫 小野寺 初枝 (福島・南相馬市)	2階 第1 セミナー室

【トーク】— 今保健師の取り組みで緊急の課題となっていること—

19日 9:15~12:00	第1	母子保健事業の民営化と 子育て世代包括支援センターの動き 山本 昌江 (長野・阿智村)	3階 A B 会議室
	第2	青少年から成人期まで、ひきこもりは社会問題に 各自治体の対策・保健師ができることは何か 中澤 正夫 (東京・代々木病院) 高橋ひとみ (NPO 法人文化学習協同初ワーク)	2階 中会議室

【午前の講座】— 保健師の力量形成のために—

19日 9:15~12:00	分科会 第2	保健所は地域の公衆衛生センターになっているか 設置主体別保健所の問題点と行政組織の再編成	高鳥毛 敏雄 (関西大学)	2階 研修室
	分科会 第3	高齢者の生活や健康を守る地域づくりと政策化 増え続ける独り暮らし高齢者の支援対策や 暮らしの課題	篠崎 次男 (元立命館大学)	2階 第9会議室

【記念講演】— 今、日本はどのような状況になっているか 保健師に期待するもの—

19日  
13:00~15:00

階級社会化する日本の経済格差と健康格差  
強調される「自己責任論」が意味するもの  
～自治体職員の役割を考える～  
尾藤 廣喜 (鴨川法律事務所弁護士)

テルサホール

【全体集会】

19日 15:10~16:00	2日間の研究集会の総括討論	テルサホール
--------------------	---------------	--------